

平成 20 年 1 月 29 日

各 位

株式会社アッカ・ネットワークス  
代表取締役社長 木村正治  
(コード番号：3764)

問合せ先 取締役 執行役員財務経理部長 廣野公一  
電話 03-4335-3727

## イー・アクセス社からの株主提案に対する当社の考え方について

当社は、平成 20 年 1 月 16 日付当社プレスリリース「株主提案権行使に関する書面の受領について」にて公表しましたとおり、イー・アクセス株式会社（以下「イー・アクセス社」といいます）より、平成 20 年 3 月開催予定の第 8 回定時株主総会における株主提案権行使に関する同日付の書面を受領いたしました。本日、この提案権の行使に関する書面に関し、当社取締役会の考え方を以下のとおりお知らせいたします。

当社は、高い技術力・充実したカスタマーサポートについて、法人・個人のお客様から高い評価を頂いてまいりました。同時に、多様なパートナー様とのリレーションを構築し、新規顧客の開拓・拡大にも努めてまいりました。こうした高い品質に基づくお客様からの評価と様々なパートナー様を通じた多様なチャンネルが当社の強みであり、これらを通じて通信業界において着実にお客様に対して付加価値の高いサービスを提供してまいりました。

一昨年より、当社は固定通信網・無線通信網の融合（FMC）の業界動向を踏まえ、既存 ADSL・光アクセスの固定通信サービスと無線 LAN・WiMAX・携帯電話網を利用した高速データ通信アクセス（HSDPA）などの無線通信サービスを融合させたブロードバンド・マルチアクセス・サービスの提供を今後の成長戦略として位置づけています。当社は、ADSL 事業を通して培ってきた強みを活かし、ブロードバンド・マルチアクセス・サービスの提供に向け、多様なアクセスサービスの選択肢をサービス・メニューに加えていくことに注力いたします。

具体的には、次のような事業戦略を推進し、株主、お客様の皆様の利益最大化を図ってまいります。

- 当社では、WiMAX 網と無線 LAN 網の共存はお客様の利便性を高めるための重要な課題と認識しており、WiMAX の事業展開が MVNO 型に変更された現在でもその戦略は変わるものではありません。当社は、無線 LAN サービスにつきましては、ADSL 事業の拡張として、都市部を中心とした広域な無線 LAN アクセス網の展開を積極的に検討してまいります。この無線 LAN アクセス網には、米国で普及しつつある最新技術（メッシュ型網など）の採用も含め、従来型の地域限定型より利便性を高めた広がりのある無

線網の提供を検討しております。広がりのある無線 LAN アクセス網により、従来の PC や PDA 端末のインターネットアクセスに加えて、数多くの携帯機器（音楽・映像プレーヤー、ゲーム機等）のネットアクセス需要を喚起すると考えています。

- 2.5GHz 帯ブロードバンド・アクセスや HSDPA に関するサービスにつきましては、MVNO 事業として展開するとともに、ブロードバンド・マルチアクセス・サービスに必要なプラットフォームを用意することで、各アクセスサービス間が円滑に接続できる環境を提供してまいります。このようなサービスおよびプラットフォームを提供することにより、既存 ADSL ユーザへ高付加価値サービスを提供できるだけでなく、オープンでより柔軟なネットワークサービスを幅広いお客様に提供し、更なる業容拡大を図ってまいります。
- 既存 ADSL 事業及び光アクセス事業につきましては、需要拡大の進んでいる企業向けを中心とした光アクセスサービスの販売強化および新販売チャンネルの拡大を含めた個人向け低価格高速 ADSL サービスの積極的販売等により、その事業の維持・強化を図るとともに、上記のブロードバンド・マルチアクセス・サービスによる更なる業容拡大も図ってまいります。

なお、上記事業展開につきましては、2月14日に2007年通期決算とあわせて発表する予定となっております今後の事業方針の中で説明いたします。

イー・アクセス社の株主提案は、取締役交替についての提案であり、企業価値向上の実現に向けた具体的方策については示されておりません。よって、当社取締役会は、イー・アクセス社の株主提案に反対いたします。但し、今後、イー・アクセス社より事業面で企業価値向上を図る具体的提案があれば検討いたします。

第8回定時株主総会における取締役の候補者の選定に関しましては、以上述べた点を踏まえて、当社の株主価値の最大化を第一義として、当社指名委員会での審議を経て、当社取締役会にて正式に決定してまいります。

以上